

## 高齢者施設・障がい者施設への健康保険証廃止に伴う影響調査

対象施設：入所系高齢者施設 705（特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、認知症グループホーム、有料老人ホームなど）および入所系障がい者施設 139（障害者支援施設、療養介護、グループホーム、短期入所など）

実施期間：2024年7月4日～7月31日

回収数：243件（回収率28.8%）

調査目的：健康保険証を廃止しマイナンバーカードへ一本化することで高齢者施設や障がい者施設にどのような影響が生じるのかを明らかにするため。

### 問1 貴施設の種類について教えてください。

高齢者施設	206	84.8%
障害者施設	37	15.2%
合計	243	100.0%

### 問2 利用者・入所者の健康保険証を貴施設で管理していますか。

管理している	167	68.7%
管理していない	74	30.5%
無回答	2	0.8%
合計	243	100.0%

### 問3 利用者・入所者の介護保険の被保険者証を貴施設で管理していますか。

管理している	150	61.7%
管理していない	88	36.2%
無回答	5	2.1%
合計	243	100.0%

#### 問2～問3 保険証の管理について

健康保険証を管理していると回答した施設は68.7%に対し、介護保険証を管理していると回答した施設は61.7%であった（介護保険証を管理している割合が少ないのは、介護保険の被保険者証を持っていない障害者支援施設等からの回答が含まれているため）。

問4 利用者・入所者のどのくらいの方が現在マイナンバーカードを持っていますか。

持っている	86	35.4%
持っている人なし	25	10.3%
わからない	127	52.3%
無回答	5	2.1%
合計	243	100.0%

持っていると回答したマイナンバーカードの割合（％）

割合	件数	割合	件数
0～10%	42	51～60%	2
11～20%	11	61～70%	2
21～30%	4	71～80%	4
31～40%	0	81～90%	7
41～50%	3	91～100%	11

問5 問4でマイナンバーカードを持っていると回答した方にお聞きします。その中に、健康保険証および本人確認書類に利用が限定された「暗証番号なしのマイナンバーカード」はありますか。

ある	16	18.6%
ない	22	25.6%
分からない	44	51.2%
無回答	4	4.7%
合計	86	100.0%

**問4～問5 マイナンバーカードの保有について**

利用者・入所者のどのくらいの方が現在マイナンバーカードを持っていますかとの間に、持っていると回答したのが 35.4%(86 施設)。その中に「暗証番号なしのマイナンバーカード」があったと回答したのが 18.6%(16 施設)だった。

暗証番号なしのマイナンバーカードは、暗証番号の設定や管理に不安がある方の負担軽減のため、暗証番号の設定を不要としたものだが、今年2月末までの交付枚数は 9,313 枚という数字が参議院総務委員会で報告されている。昨年 12 月から導入され 6 ヶ月以上経っている現在、あくまでも施設側が把握している範囲ではあるが、入所者がマイナンバーカードを持っていると回答した施設で顔認証マイナンバーカードがあると回答したのは 18.6%(16 施設)であり、全体でみると 7%にも満たないことから、ほとんど普及していない状況がうかがえる。

問6 利用者・入所者のマイナンバーカードの（代理）申請について貴施設で対応できますか。

対応できる	27	11.1%
対応できない	141	58.0%
わからない・検討中	72	29.6%
無回答	3	1.2%
合計	243	100.0%

問7 問6で「対応できない」とお答えした方にお聞きします。理由をお聞かせ下さい。（複数回答可）

本人の意思確認ができない	95	67.4%
手間・労力がかかり対応できない	89	63.1%
本来義務ではない	71	50.4%
行政職員が対応すべき	33	23.4%
その他	29	20.6%

n 141

#### <その他内容>

- ・銀行口座やその他資産等、ご家族が対応すべき情報が多いため
- ・家族の考え方が重要
- ・個人情報なので
- ・家族の方にやっていただく（居ない方に関しては行う事も）
- ・現状では法人各事業所ともノータッチのルールがあるため、必要な人は家族等が管理
- ・本人写真が撮れにくい方有り
- ・本来は本人もしくは家族が対応するべき
- ・保証人に依頼しています
- ・暗証番号の設定～管理が不可能
- ・管理が難しい
- ・本人、家族にやっていただけます。
- ・個人情報に踏み込みすぎる。
- ・家族、身元引受人への説明と同意が難しい。
- ・基本は家族対応
- ・個人情報の取り扱いが心配。全ての入居者に対応しきれない（ケースにより難しい場合が多い）
- ・申請するのであれば家族に対応してもらおう
- ・保証人に依頼しています
- ・ご家族が対応と考える
- ・業務でないため
- ・本人が同行しないと対応していただけない。
- ・重要な個人情報にあたり、慎重に考えたい。家族の意向もある。

- ・利用者、入所者が希望していない
- ・本人が申請しなければいけないものと認識しています。申請の支援はしています。
- ・通所なのでご家庭にて対応
- ・個人情報の管理がたいへん
- ・個人情報もあり、マイナンバーカードは色々な所に結びついているものと考えます。本人、ご家族以外の方が申請するのはどうかと思う。
- ・マイナンバーカードが発行されたとしても、それを管理する対応が大変であり、代理申請はしていない。
- ・ご家族の対応をお願いしても高齢でできない方もいる。

#### 問6～問7 マイナンバーカードの(代理)申請について

対応できるとしたところが11.1%(27施設)に対し、対応できないところが58%(141施設)と半数以上との回答になった。対応できない理由としては、本人の意思確認ができないが67.4%、手間・労力がかかり対応できないが63.1%、本来義務ではないが50.4%などであり、本人もしくはご家族に対応を依頼している意見も多かった。また、施設として代理申請で暗証番号なしのマイナンバーカードの取得を検討したが紛失等や不正利用など不安から断念したとの意見もあった。

なお、資格確認書の申請については、福祉施設・支援団体向けマイナンバーカード取得・管理マニュアルによると、「施設等の職員から施設利用者へ、資格確認書の申請希望等をあらかじめ聞いた上で、施設等で保険者に代理申請いただくことも可能」と記載されている。本人の意思確認ができないことや施設側の手間という意味では、資格確認書の代理申請もマイナンバーカードと同じで難しいと思われる。

問8 利用者・入所者の暗証番号付きのマイナンバーカードについて貴施設では管理ができますか。

管理できる	15	6.2%
管理できない	167	68.7%
わからない・検討中	58	23.9%
無回答	3	1.2%
合計	243	100.0%

問9 問8で「管理できない」とお答えした方にお聞きします。理由をお聞かせ下さい。(複数回答可)

カード・暗証番号の紛失時の責任が重い	149	89.2%
カード・暗証番号の管理が困難	139	83.2%
不正利用、情報漏えいへの懸念	112	67.1%
家族の同意が得られない	39	23.4%
その他	18	10.8%

n 167

### <その他内容>

- ・健康保険以外の個人情報等が含まれるため
- ・個人情報なので
- ・第3者が管理すべきでない
- ・入所者の多い老健施設の特性もあり、管理しきれない。また、緊急（受診）時に必要なものながら、日常的には（全額老健負担のため）不要なため、マイナンバーカードまで預けてもらうのは困難。
- ・法人でノータッチのルールがあるため、必要な人は家族等が管理。
- ・複数の職員がカードを持ち通院することになり暗証番号を全ての職員に教えることは不可能と思われる。

問10 問8で「管理できない」とお答えした方にお聞きします。それでは暗証番号なしのマイナンバーカードなら管理できますか。

管理できる	14	8.4%
管理できない	102	61.1%
わからない・検討中	49	29.3%
無回答	2	1.2%
合計	167	100.0%

問11 問10で「管理できない」とお答えした方にお聞きします。理由をお聞かせ下さい。（複数回答可）

カード紛失時の責任が重い	91	89.2%
カード管理が困難	83	81.4%
不正利用、情報漏えいへの懸念	67	65.7%
家族の同意が得られない	26	25.5%
その他	10	9.8%

n 102

### <その他内容>

- ・法人でノータッチのルールがあるため
- ・個人情報に紐づいており責任が重い
- ・貴重品については家族管理、又は自己管理。
- ・個人で管理していただく
- ・健康保険以外の個人情報等が含まれるため
- ・複数の職員が関わらざるを得ないことへの不安。
- ・基本的に管理をしていない（自己管理又は家族管理、特例で外部サービスでの管理）
- ・個人の物を管理する施設ではない。
- ・健康保険証、介護保険証等の管理も家族に依頼している。

### 問8～問11 マイナンバーカードの管理について

施設での暗証番号付きのマイナンバーカードの管理については、68.7%(167 施設)が管理できないと回答している。管理できない理由は、「カード・暗証番号の紛失時の責任が重い」が 89.2%(149 施設)、「カード・暗証番号の管理が困難」が 83.2%(139 施設)と、紛失時の責任と管理困難が 8 割を超える結果となった。

暗証番号付きのマイナンバーカードで管理できないと回答した 167 施設に、暗証番号なしのマイナンバーカードなら管理できるか聞いたところ、61.1%(102 施設)が管理できないと回答した。そもそも暗証番号なしのマイナンバーカードは、暗証番号の設定や管理に不安がある方の負担軽減のため新たに作成されたカードであるが、それにもかかわらず6割以上の施設で管理できないと回答していることから、暗証番号なしのマイナンバーカードであっても結局は多くの施設では管理できないという結果となった。

自由意見では「個人情報の取り扱いが通常でも重要視されている中、また、限りある人材の中で、手続き・管理・責任が重すぎると」や、主に健康保険証としての利用に限定されている暗証番号なしのマイナンバーカードでは「マイナンバーカードを作る必要がどこにあるかが全く分からず現行の紙ベースの健康保険証でまったく問題ない」との意見もあった。

### 問 12 健康保険証廃止による施設への影響・危惧を教えてください。(複数回答可)

マイナンバーカードの取得・利用が困難な利用者への対応増加(代理申請等)	201	82.7%
施設内でのカードの紛失・再発行の手間や労力の増加	164	67.5%
マイナンバーカードの紛失・盗難など家族等とのトラブルの増加	160	65.8%
マイナンバーカードの紛失・更新切れ・破損・再発行などへの対応が困難となる	186	76.5%
保険証と一体化したマイナンバーカード(暗証番号含む)の管理が困難となる	177	72.8%
情報漏えいやセキュリティ対策が不安	153	63.0%
医療機関に受診の際の付き添いサービスを提供できなくなる	52	21.4%
その他	14	5.8%

n 243

#### <その他内容>

- ・現状、紙の保険証で対応しているため、まだ影響はない。始まったら、上記全てだと思われる。
- ・緊急搬送時、保険証が使用できず、家人来るまで手続きできない。忘れていた家族に限りトラブルが多くなりそう。
- ・健康保険証も本人管理
- ・ご家族様にマイナンバーカードはおまかせしている

- ・処方箋の対応も大変煩雑になる
- ・特になし
- ・5年後の対応
- ・顔認証が困難との事例を聞いたことがあります。
- ・カードの性質上、第三者である施設職員が関われない。サポート側も個人を証明することになるとしたら難易度が高すぎる。
- ・個人情報、財産に関するものは利用者又は家族が管理すべきものである。
- ・本人が同行しない通院の手続き、持ち歩きが頻回になるカードの管理、手続き。
- ・医療機関への受診の付き添いが困難になる。
- ・具体的なことがわからない。

**問 13 健康保険証廃止による利用者・家族への影響を教えてください。（複数回答可）**

マイナンバーカードの取得・利用が困難な 本人・家族の負担が増加する	204	84.0%
マイナンバーカードの紛失・更新切れ・破 損などへの対応が困難	187	77.0%
マイナンバーカードの紛失・盗難など施設 等とのトラブルの増加	161	66.3%
本人が手続きに必要な IT 機器が使えな い・理解できない	186	76.5%
情報漏えいやセキュリティ対策が不安	145	59.7%
医療機関に受診の際の付き添いサービス を受けられなくなる	53	21.8%
その他	7	2.9%

n 243

**<その他内容>**

- ・資格証明書の交付があれば利用者、施設の手間等は変化ないのでは？ただし、有効期間が短いと大変。申請しなくては取れないとなると大変だと思います。
- ・今まで施設で対応できていた事項が依頼できなくなる
- ・カードに関連する物事は、全て家族が対応することになり施設が代行することが難しくなる。
- ・保管場所、家族、施設か。必要なとき届けてもらうか取りに来るか負担がかかる。
- ・本人が申請を希望していない方もいらっしゃる。
- ・他事業所による通院付き添いについてのカードの受け渡し、手続きについて
- ・医療機関への受診の付き添いサービスを受けるのが困難になる。

### 問12～問13 健康保険証廃止による影響・危惧について

施設への影響では、「マイナンバーカードの取得・利用が困難な利用者への対応増加」が82.7%(201 施設)と最も多く、ついで「マイナンバーカードの紛失・更新切れ・破損・再発行などへの対応が困難となる」が76.5%(186 施設)となっている。

利用者・家族への影響では、「マイナンバーカードの取得・利用が困難な本人・家族の負担が増加する」が84.0%(204 施設)で「マイナンバーカードの紛失・更新切れ・破損などへの対応が困難」が77.0%(187 施設)となった。

問14 政府は2024年12月2日に現行の健康保険証を廃止し、マイナ保険証に一本化する方針です。健康保険証の廃止についてどのようにお考えですか。

賛成	6	2.5%
反対	173	71.2%
どちらでもない	62	25.5%
無回答	2	0.8%
合計	243	100.0%

問15 政府は2025年以降に介護保険の被保険者証も廃止する方針を示しています。介護保険被保険者証の廃止についてどのようにお考えですか。

賛成	6	2.5%
反対	170	70.0%
どちらでもない	64	26.3%
無回答	3	1.2%
合計	243	100.0%

### 問14～問15 健康保険証、介護保険証の廃止について

健康保険証の廃止について反対が71.2%(173 施設)、介護保険の被保険者証の廃止についても70.0%(170 施設)が反対と、7割以上の施設がそれぞれ反対と回答している。

### 問16 自由意見

- ・現実、家族がもう他界していない本人も100才で認知症、どのようにそういう方は作ればいいのか教えて頂きたい。カード作って下さる方が来て下さるなど対応して頂かないとあまりに乱暴だなあと感じてしまう。
- ・高齢者（施設入居者）のことを考えていない。やるならば、全て行政の責任としてやるべき。推進というスタンスが中途半端なわりに強制力が強く不信感しかない。
- ・当初から必要と言うべき。どちらでも良い所から始まったため作らない選択にいたっているのが現状と思う。行政でやるべき。
- ・家族や親族がいない利用者への対応を行政が把握して管理できるのか。現状マイナンバーカードに対応していないので、一本化してからの動向が見えない。

- ・施設としてマイナンバーカードを預かることや申請の困難さがあり、対応を検討する必要性があります。情報管理についても不安があります。
- ・手続に時間を要することと、個人情報モノは極力お預かりしたくないと思っている。
- ・職員の責任や負担が大きくなることが不安です。外出困難な利用者のマイナンバーカードの作成他、対応についてもこれから協議していきます。
- ・個人情報の管理が年々厳しくなっています。施設としてはこれ以上のリスクをとりたくありません。
- ・保険証が使えず、利用者の健康を守れない懸念がある。
- ・こんなにトラブルがある中、しかもこんなに低い取得率なのに、どうして押し進めるのか不明?もっと現実的に考えて欲しい。
- ・マイナ保険証にするメリットが良くわかりません。受診付き添い等や緊急時対応などの事を考えると、家族や代理人の方への対応が必須となり、負担の増加があると思われます。
- ・施設と家族間でのトラブルが増加していくと思います。現在、施設で管理している証書類（減免に対するもの、割合証、等）だけでも、更新時などの家族対応に手間がかなりかかる。これ以上家族とのトラブルになる事を増やすのはやめていただきたい。
- ・ご苦労様です。保険証廃止絶対反対です。
- ・健康保険証廃止に伴い、マイナンバーカードの代理申請等の事務負担や、行政等の円滑な仕組みが出来ていない時の負担を考えると、反対せざるを得ない。
- ・簡単な管理、手続きにしてほしい。
- ・高齢者の申請や更新が困難なので、今後一本化になった時はどうなんだろうと思います。現在の保険証は1年の更新なので、入替の手間を考えると少しは楽になる所もあるのかな？
- ・介護保険証もマイナンバーカードになり、カードを施設で扱うとき、読み込む機械が必要。費用負担はどうなるか？
- ・現保険証はコピーを持っているので、対応している。施設での預かりはしていない。
- ・施設の業務負担がとても懸念されます。
- ・何のメリットも感じないので反対です。
- ・マイナンバーカードだけでも周知が充分でないのに、そこへ保険証を連動させるのは、今すぐは無理。これまで普及してきた保険証を廃止してまで、変えるのは、なお時間が必要。
- ・現在施設に保険証は預けてもマイナンバーは預けない教えないのスタンスをとるご家族成年後見人がいらっしゃる。紐づけがされたとしてもカードと保険証は別々にしていただきたい。口座が紐づけられ個人情報漏洩につながる。マイナ保険証を作成された方々も今は解除されている方も多い。
- ・暗証番号がないマイナンバーカードならば、マイナンバーカードを作る必要がどこにあるかがまったくわかりません。現在の紙ベースの健康保険証でまったく問題ないと思います。
- ・高齢者施設等代理申請が多くなると考えられ、その分手続きの負担も大きくなると心配しています。何らかの対策がほしい。
- ・現行の保険証（後期高齢者）は毎年発送されるが今回は申請が必要。保険証（現行）の

管理は難しい。高齢者にとって申請は負担。各種トラブルが出現する可能性が高い。施設にマイナンバーカードは管理できない。

- ・高齢者施設入所者には健康保険証の発行をお願いしたいです。
- ・マイナンバーカードの取得を施設が代理申請する場合、利用者様本人は意思表示ができないため、ご家族に取得希望の確認や同意を得る必要が生じるが、そのためのお知らせの作成や希望の取りまとめに手間と労力がかかる。それを施設がやらなければならないはおかしい。また、そのための費用（用紙や封筒、郵送料等）について施設が負担しなければならないのはおかしい。
- ・いろいろな情報が紐づくマイナンバーカードを施設で保管することは、責任が重く対応できない。カードと暗証番号を別々に保管する必要がある、毎月のチェックも必要になると思われる。また、緊急時の受診などで複数の職員が扱う状態になり、紛失や盗難のリスクが高くなる。
- ・現在、利用者様の健康保険証は全員分施設にて保管しているため、保険情報について把握できているが、マイナンバーカードを取得しているのか資格確認書なのかまちまちになると把握が難しくなり、事務的負担が大きくなる。まだ、緊急時に混乱する可能性がある。
- ・資格確認書について、申請をしなければ取得できず事務的負担が大きい。申請しなくても発行すべき。更新の際は自動的に届くのか？
- ・マイナンバーカードを取得していると資格確認書を発行してもらえないようだが、マイナンバーカードを取得している方でも資格確認証を発行してもらえるようにしてほしい。
- ・ご家族の希望により家族がマイナンバーカードを保管する場合、夜間等で緊急の受診が必要になった際に、家族が来られなければマイナンバーカードで保険情報の確認ができない。その場合、自費で医療費を支払わなければならないが、高額の医療費を施設が立て替えなければならない、とても負担である。
- ・災害時（停電時等）や故障時は、マイナンバーカードの認証機器は使用できなくなると思われるが、保険診療は受けられるのか。そのたびに自費で支払わなければならないとすれば、かなりの負担である。
- ・マイナ保険証の場合、医療機関が施設に往診にきた際には、どのように保険情報を提示すればいいのか。その場で保険証の提示ができなくなる。
- ・グループホームでは看取りも行っているため、急な入院や受診が多い中漏えいされないように保管した場合に緊急時の使用が困難になる。重要なものを保管するためにはセキュリティがしっかりしているカギ付きの所に保管する。日常ではケアに生かすことの難しさを感じる。
- ・どの様な影響が生じるか明確になりましたら、その対応策も起こりうる事案もまとめてあれば助かりますが、又、誰がその様に対応するなど、全てが不安です。
- ・現状の対応が混乱を招かず良いのではないか。
- ・「資格確認書」が交付されるといって、その後の存続が不安。医療機関窓口での扱い不安。マイナンバーカード無いと診療費高くなる。
- ・高齢者がこれからマイナンバーカードを作る事は難しいと思う。認知症を患っていれば余計に困難。遠方の家族もいる為対応が困難と思われる 75 才以上は今まで通りで良いと思う。これから 75 才を迎える方は別として。

- ・マイナンバーにしての情報漏えい。トラブルが起きるとすべて止まってしまうなど→多様性が大切。
- ・5月の利用率が7.73%と低い状況を見ると、2024年の12月に健康保険証の廃止は早すぎる気がします。実態を確認の上、再度廃止時期の見直しを行うなど丁寧な進め方を望みます。
- ・マイナンバーカードはあくまでもして手にするものであり、それをほぼ義務化することに憤りを感じる。今までのままにしてほしい。不安が大きすぎる。
- ・マイナンバーへの一本化は必要ですが、申請代行に必要な情報のみの現在のカードも一方で便利。マイナンバーカードの促進は必要ですが、現在のカードの併用をお願いしたい。
- ・健康保険証を廃止し、マイナンバーカードへ一本化ということは、マイナに強制移行の考え。国民から税を取り、税を無駄に使う国会議員が許せません。社会は不安の渦に飲み込まれると思います。
- ・認知症等で紛失し、再発行する事もある。後期高齢者は現行ままで良いと思う。
- ・健常者のうちは何ら問題はない。政府は介護業界や認知症という物の理解がないだけと考える。
- ・ポイント制などをうたって、マイナ保険証をすすめてきたが、すでに情報漏洩などの問題がでてきている。高齢世帯のお宅は申請すらできない（理解できていない）ので、2025年以降廃止の方針は乱暴なことだと思うし、代行で行う業者もいると思うが、国からの委託になると思われるので税金？が使われるのはいかがなものかと思う。
- ・ご本人が通院するより職員が代わって薬の調達等実施する場合があります、個人番号がどの職員にも見られる状態になってしまう。今回の件は何でもできる健常者を中心に考えられていて少し残念。
- ・個人情報の管理体制を整えるのが困難。受診付き添いの際、暗証番号が必要となるため、付き添い代行が出来ない。
- ・利便性（マイナンバーカード）が全てではないと思います。ご本人の意思を表すことができない方にとっては現状の紙ベースが望ましいと思います。
- ・家族にも作成するよう促しているが、作ったのは1家族のみ。家族ですら持っていない。家族がいない人も増える中、こんな手続きに手間のかかることを何故おこなうのか全く理解できない。誰得？の制度である。施設入所だけでも特例を認めてもらいたい。
- ・決められたことに従うしかないが、平均年齢88歳以上の施設でマイナンバーカードを作成済みの方がどれだけいるのか。人員が少ない中で、新たな仕組みを理解できる職員も少ない。
- ・マイナンバーカードにより情報の一本化が図れることについては良いカードと思います。しかしながら、使用する側としてはカードの性質上、個人情報の保護、セキュリティの保護等、他者が関わりずらくなっています。施設入所者は、要介護状態であり且つ、住所を持って入所していますので、施設職員が入所者人数の代行する事があります。生活がスムーズにできるよう緩和、代替策等、カードの有無に関わらず、施設がカードを取り扱わない方法のご検討をお願いします。
- ・個人情報の取り扱いが通常でも重要視されている中、また、限りある人材の中で、手続き・管理・責任が重すぎると感じます。また、カード作成をした方で、写真の背景や角度

などから何度も撮り直しがあり、ご家族も大変な様子でした。

- ・一本化され管理が楽になるメリットはあると思うが、現時点では、情報漏洩やセキュリティ対策に不安が残る。資格確認書については、申請ではなく、必要な人には全員配布されるよう対応してもらいたい。必要時に、安心して必要な医療を受けられるよう進めてもらいたい。
- ・本人の意思確認ができない方がほとんどで、施設としてもそのすべてに対応するのは難しい面もある。
- ・マイナンバーカードが出来た時、職員の番号は、マニュアルを整備、保管も厳重にこのことで、システム経由で他の場所に保管していますが、同じような対応はできないので、何とか保険証を存続してほしいと思います。
- ・現在、健康・介護保険証を各利用者様より預かっています。しかし、「管理している」に該当するのか不明でしたので問2-3は上記のように回答致しました。
- ・利用者・入所者の健康保険証、介護保険被保険者証はコピーを保管、原本は本人へ返却。
- ・意思確認できない利用者が多く、またそのご家族も高齢となっており、各種手続が大変困難な状況です。施設の特性上、代行手続きはできません。同様に管理もできません。そのため現状の対応でお願いしたいです。
- ・保証人の協力なしでは、カード作成は困難かと思います。暗証番号なしカードが保険証として紐づけられるならすすめていきたいです。
- ・現状維持がトラブルもなくいいと思います。施設としてはスムーズな受診ができること、新たな負担が増えないことが担保されていれば移行はやむ無しとも考えています。毎回、毎月カードの提示ではなく、初回登録のみで今後は提示をすすめないなどであれば言うことは有りません。逆に毎月カードを提示するのであれば一本化する意味がありません。
- ・健康保険証を廃止し、マイナンバーカード1本化するメリットは感じない。デメリットばかりが目立つ。余計なお金もかかるため不要と考えます。
- ・施設で暗証番号なしのマイナンバーカード申請を行いました。家族の希望者も少なく28%程度でした。施設では意思確認が多くカード取得は困難と考えられます。
- ・マイナンバーカードの管理ができない人が多いです。保険証の廃止はやめていただきたいと思います。
- ・今の方法で問題はなかったと思います。支援を受けて暮らす方々にとって、支援度が下がる、困難度が増える方向への舵切りは強引にすすめてほしくないです。
- ・日本の労働人口の減少に伴い、障害福祉サービス事業所も人手不足はさけて通ることができないなかで、マイナンバーカードにより各種手続きが楽になるのであれば歓迎したいですがなかなかそうはいきませんね。
- ・マイナンバーにより利用者の通院に困難がないようにしてほしい。
- ・通所のため健康保険証、マイナンバーカードはご本人、ご家庭の管理のため事業所での管理はしていません。
- ・5月に一斉にマイナンバーカードを施設側が対応し作成したが、「うちはマイナンバーは作成しません」という家が数件あり、今後そのような家族へはどのような説明が良いのか。
- ・ご家族の意向でマイナンバーカードを取得されなかった入居者が数名いらっしゃいます。マイナ保険証に1本化されるとこの方々の受診はどうなるのでしょうか？心配しております。

- ・マイナンバーカードの用途が増えるほど、紛失のリスクが高まってしまう。重要な個人情報や現在の保険証と同じ感覚で持ち歩く環境に対し、不安は強い。
- ・利用者の入院時の場合、保険証を病院に預けることもある。他人のマイナンバーカードを持ち歩くことは、かなり負担がある。また、受診の際カードリーダー等で操作するなど職員として利用者の個人情報の管理の責任を負うことは負担が大きい。
- ・本人の代わりにマイナンバーカードを職員が持って医療機関を受診することができるのか悩むところです。今まで通り健康保険証は別にしておいてほしいです。
- ・今年県の方から委託業者の派遣があり、施設入所者の顔写真を撮影してもらい、顔認証のみのマイナンバーカードの作成がスムーズにできたが、今後、更新の時どうなるのか。現段階では不明とされているのでスムーズな対応をお願いしたい。
- ・自己処理できる利用者がほぼいない。顔認証カードのため。受診付添者が代行者に認めていただけるか。代理受診、往診対象者も多数おられる。
- ・介護保険証から得られる情報収集は（廃止になると）どうなりますか？
- ・当事業所も代理申請で暗証番号なしのマイナンバーカードの取得の検討を致しましたが、現実には紛失等の不安、不正利用 etc の不安があり断念しました。今後は入所される時にご家族対応をお願いしていきますが、現実には利用者様の状態を考えると難しいと思います。
- ・12/2廃止において施設での代理申請が予測されます。期間延長については可能なのか。
- ・介護保険施設のため、入居者及び家族も高齢の方もいらっしゃる、手続き等も支障がでます。管理も個人情報満載のカードを預かることが難しくなるかと思えます。
- ・机上の論理だけで物事を進めないでください。実際に対応する現場は大変であり困難極まりない。全て IT 化するのではなく、カードを使いこなせない高齢者の方たちのことも考えてください。
- ・施設より病院受診する方がいる。保険証がマイナンバーに一本化されると大変不都合。施設からの受診に対しての対応を示してほしい。とても困る。
- ・緊急時、目視による保険情報確認が難しいマイナ保険証はシステムダウンなどで混乱を招くのではないかと。
- ・実際にそうなったときの想像ができない。政府がマイナンバーカードの作成（申請）を代理で行ってくれたらありがたい。施設に来てくれるなど・・・。
- ・現行の保険証とマイナカードの併用は高齢者本人は申請、変更、管理等負担があると考えます。一本化することで本人の管理はしやすくなりますが、移行の手続きには難航も予想されます。施設での管理はリスクも高く、内容を確認するための IT 機器導入に負担が増加します。十分な検討が必要と考えます。
- ・高齢になるほど、IT 関連のシステムがうとくなりますし、トラブルも起きやすいです。施設側も家族側も手間や労力が増加し、困ることばかりです。アナログでも大切なシステムがあると思えます。
- ・高齢者だけの世帯や独居の方、疾患などかかえている方などマイナンバーカードを持っていない方がまだまだいると思えます。